

川田中小学校で河川環境学習を開催しました。

川田中小学校 4年生 16名を対象に川田川のゴミの調査、水質実験、石の観察を行いました。

【実施概要】

日 時：平成 23 年 10 月 4 日（火） 13：30～15：30

場 所：川田川

参加者：川田中小学校 4年生 16名

徳島県西部総合県民局吉野川庁舎 1名

フジタ建設コンサルタント 4名

内 容：1 川田川のゴミ調査

2 水質調査：COD測定、透視度測定（川田川と穴吹川の比較）

3 川田川の石の観察（石ころアート材料ひろい）

感 想：いつも見ている川田川に、あんなにたくさんの色々なゴミが落ちていることに驚きました。
雨が降ってゴミが流れてきているんだと思いました。

水質調査で川田川の水は、穴吹川に負けないくらいきれいでよかったです。いつもきれいな川でいてほしいので、ゴミが川に流れていかないようにしていきたいです。

【活動状況】

○川田川のゴミ調査

山川地区のゴミの分別の話の後、班ごとにゴミを拾いながら調査と記録を行いました。



「これは何のゴミだろう」と分類を相談し、ゴミマップに記入をしていきました。



先月の大雨の後なので、ビニールの切れ端が草にたくさんひっかかっていたり、ホースが砂に埋まっていたり、様々なゴミが落ちていることが分かりました。



集めたゴミは班ごとにシートに並べ、多かったゴミ、落ちていた場所を発表しました。

大雨により大量の水が流れたため、金属類などの重たいゴミは残り、プラスチック類などの軽いゴミは流れてしまっているか、石の間にはさまっていることがわかりました。

○水質調査：パックテストによるCOD測定 透視度測定

測定の方法の説明を受けた後、班の中で川田川と穴吹川に分かれて行いました。

どちらの川がきれいかという予想では、半々に分かれました。



結果は、

COD測定 川田川：0(1名)、2(5名)、6(2名) 穴吹川：2(2名)、4(2名)、6(2名)、8(2名)

透視度測定 川田川：130cm 穴吹川：130cm となりました。



夏には岸边近くに油が浮いていたり、川底が茶色くなっていた川田川でしたが、大雨が続いたためか川の水も川底もきれいになっていたようでした。

透視度の測定結果に、「川田川のほうがきれい」と誇らしげに言っている児童もいました。

そして、川の汚れの原因と、川のために自分たちができることを学びました。



○石の観察

はじめに、川田川で特徴的な紅簾石や鉱さいについての話を聞きました。その後、分類された石や、ストーンアートの見本をみてから、石の観察を行いました。



イメージした石を拾う児童や、気に入った石を拾って後でイメージをしていく児童など、後日行うストーンアートに向けて意欲的な様子でした。



最後に代表児童から学習を終えての話があり、皆であいさつをしました。



「自分たちのまちをアピールしよう」という学習テーマの中で、川田川の環境学習活動を行いました。川に落ちているゴミの観察を行ったこと、水質調査では川田川の水質は予想よりきれいだったこと、なにげない川の石に夢中になったことなど、川田川に親しみ、大切にしていきたいことを実感した活動となりました。